



ひいらぎ

第2号

令和7年5月28日

壬生町立安塚小学校

校長 金久保 雅彦

教育目標 ・やさしい子 ・すなおな子 ・つよい子 ・かんがえる子

始業式・入学式から、あっという間に2か月が経とうとしています。子供たちは新しい学級や担任の先生にも慣れてきた頃かと思います。各学級の組織や委員会・クラブの組織作りも終わり、様々な活動が本格的に始動しました。子供たちが充実した毎日を送れるよう支援して参ります。ご家庭でも子供たちの話に耳を傾け、心の安定を図ってくださるよう、よろしく願いいたします。

《避難訓練》

4月18日(金)に避難訓練を行いました。今回は地震後に火災が発生したことを想定して、避難しました。全員で避難し、教室からの避難経路の確認をしました。「お・か・し・も」をよく守り上手に避難できました。



《授業参観・学級懇談会》



4月22日(火)に授業参観・学級懇談会を行いました。子供たちは、保護者の方が見守ってくださることにわくわくしながら、授業を受けていました。また、学級懇談会も実施しましたところ多くの保護者の方が参加してくださいました。ありがとうございました。

《学校運営協議会》

4月30日(水)第1回の学校運営協議会を開催しました。児童の様子を見ていただき、今年度の学校経営方針を承認していただきました。子供たちの豊かな学びにつながる教育活動を協議していただきます。



委員の皆様

***** 様(会長)

***** 様(副会長)

*****様 *****様

*****様 *****様

*****様 *****

事務局:***** *****

《修学旅行》

5月22(木)・23日(金)に修学旅行に行って来ました。慣れない土地で班別活動をした6年生、途中で計画通り進まず、ドキドキした体験をした班が多かったようです。しかし、自分たちで友達と相談し、考えて行動できました。また、男女が仲良く協力する姿もたくさん目にしました。学年、学級の団結力も増したことと思います。とても頼もしく感じた二日間でした。



「甘えさせる」と「甘やかす」

「何でも自分でできるように育てるべき、甘えさせるとわがままになる。」と考えてはいませんか。また、「甘えさせる」というと「甘やかす」と思われがちですが、この2つは似ているようでまったく違います。

「甘やかす」とは、子供が自分でできることを大人が先回りしてやってしまったり、要求を何でも受け入れてしまうこと。これは、過干渉または過保護とも言います。おかしやおもちゃ、お金など、子供の物質的な要求に応じてしまうのも甘やかしです。甘やかしは、子供に言うことをきかせようとする「大人の都合」の対応とも言えるでしょう。

一方、「甘えさせる」とは、子供が大人の助けや愛情を求めてきたときに、その気持ちを理解し、認めてあげて、どうしてもできないことを手助けてやること。つまり、子供の心理的な要求を受け入れることです。大人に甘えることができ、心が満たされた子供は、安心感と自信を土台にして、自立の道を歩いていきます。上手に甘えさせることができる大人になりたいですね。

校長室の窓から

1年生が入学して2週間くらいたった頃、廊下を走ってくる1年生に声をかけると、「だーれー？」と首を傾げられ、近くにいた子が、すかさず「園長先生。」と声を上げました。まだまだ、小学校になれていない1年生らしい一コマでした。担任のようにはいきませんが、毎朝声をかけ、教室に顔を出し、覚えてもらえるように頑張ります。